

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線42361  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

## リコール届出一覧表

リコール届出日：令和元年10月15日

リコール届出番号	4580	リコール開始日	令和元年10月16日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 日高 祥博 問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	原動機（エンジンコントロールユニット）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、アイドルリング状態からスロットルをわずかに開けると、燃焼室内に吸入される混合気が薄くなることがある。そのため、最悪の場合、混合気が異常燃焼し、エンストするおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、エンジンコントロールユニットのプログラムを対策プログラムに書き換える。また、一部の車両においてはスロットルボディを対策品に交換する。		
不具合件数	6件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメールで通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo. 4580のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	2BK-DG31J	「SEROW XT250」	DG31J-000013～DG31J-004326 平成30年8月9日～令和元年10月4日	4,277台	
	2BK-DG32J	「tricker XG250」	DG32J-000011～DG32J-001100 平成30年8月23日～令和元年9月30日	1,090台	
	（計2型式）	（計2車種）	（製作期間の全体の範囲） 平成30年8月9日～令和元年10月4日	（計 5,367台）	

（備考）リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。

本届出は、平成31年1月21日付け「届出番号4418②」にてリコール届出を行ったものであるが、対象車両の選定に誤りがあったため、対象車両を追加し、新たにリコール届出するものである。